

授業科目コード	1707100	授業科目名	生活と健康		担当教員名	大坪 勇
対象学部・学科		分野区分	学年	単位数	学期	曜日・時限
学部共通		基盤	1	2	前期	
ディプロマポリシー						
DPI-1 (知識・理解) (多様性への理解) 人間、社会、文化、地域の多様性についての基本知識を修得し、幅広い視野と柔軟な感性で「もの」「こと」を受けとめ、理解する力を修得している。 レベル1: 多様な価値観があることを理解し、自分の価値観との違いを理解している						
授業のテーマ						
日常生活における健康課題は多様化している。その課題は日本における健康問題としてだけではなく、地球規模の問題として、世界的に健康概念や規定がなされ、健康指標が問題にされてきた。身近な健康課題を通じて、海外の国や地域の健康の捉え方の変遷や今日的な課題についての関心を高め、理解できることを目指す。						
授業の到達目標						
到達目標1	健康のとらえ方について、国際的な観点からの理解を深める。					
到達目標2	日本および諸外国での健康課題、実情について関心を高めることができる。					
到達目標3						
受講上(授業外学習含む)の注意点						
配布プリントは、試験範囲に含まれるため、紛失しないようにし、復習しておくこと。						
関連科目						
教科書・参考書など						
授業計画						
回数	項目	内容(予習復習指示などを含む)			使用資料	
1	ガイダンス	生活と健康の学び				
2	ミレニアム開発目標	人間の安全保障 21世紀の取組み				
3	ポスト2015開発目標	国際連合の開発目標 ユニバーサルヘルスカバレッジ				
4	国際保健医療協力	国際保健医療協力の仕組み 国際交流と国際協力				
5	世界の健康課題の背景としての貧困	世界の貧困問題 健康を支える基盤				
6	世界の健康課題の背景としてのジェンダー	健康とジェンダー リプロダクティブ・ヘルス 世界の女性の健康課題				
7	世界の健康課題の背景としての教育	教育と健康の関係 子どもの健康の現状				
8	世界の健康課題の背景としての多文化共生	日本の移民受け入れの歴史 医療現場での在留外国人を取り巻く問題 在留外国人が抱えやすい健康問題				
9	世界の健康課題の背景としての平和問題	終わらない戦争 平和を紡ぐもの				
10	人口移動に伴う健康問題	世界の人口推移 若者の流出 高齢化問題				
11	非感染症としての生活習慣病	開発途上国の実態 非完成症に対する世界の取組み				
12	メンタルヘルス	開発途上国の実態 世界の精神保健における不均衡				
13	感染症と人間の安全保障	拡大する感染症 三代感染症の現状と課題				
14	環境が健康に及ぼす影響	水のない生活とは 環境保全の取組み				
15	国際協力のための人材開発	健康格差を緩和する人材の役割 人材育成のためのキャリアデザイン				
16	試験					
成績評価基準						
成績評価基準項目		内容等			評価割合	
平常点 期末試験等 レポート	1回目の授業アンケート(レポート)、小レポート 期末試験は持ち込み不可の記述式試験 「生活と健康」に関連するテーマを自分で設定し、授業中に指示する要領で、2,000字以上のレポートとしてデータ提出すること。			10% 50% 40%		
◆1回目に、講義内容に関連した内容を含む、授業アンケート(レポート)を記載してもらう。平常点の対象課題となっているので、2回目の出席以降にでも用紙を受取り、提出すれば平常点に加点する。						

授業科目コード	1707100	授業科目名	生活と健康		担当教員名	大坪 勇
対象学部・学科		分野区分	学年	単位数	学期	曜日・時限
学部共通		基盤	1	2	前期	
平常点 期末試験等 レポート	1回目の授業アンケート（レポート）、小レポート 期末試験は持ち込み不可の記述式試験 「生活と健康」に関連するテーマを自分で設定し、授業中に指示する要領で、2,000 字以上のレポートとしてデータ提出すること。					10% 50% 40%
特徴ある授業方法	◆授業アンケート（レポート）は、授業中に発表してもらうこともある。双方向の授業に役立てるため、受講理由や授業テーマへのイメージや関心などについて記載してもらい、受講生を含め共有し合うことを目的としている。発表しない場合も、授業中に（匿名で）内容を紹介する場合がある。 介護施設の介護職員として、高齢者や障害のある人の介護を担うとともに、介護支援専門員（ケアマネジャー）として介護認定調査を行っていた。この実務経験を生かした内容を講義に盛り込む。					
学生への連絡事項	◆授業の終了前に、その日の授業内容に関する小レポートを記載してもらうことがある。持ち帰って翌週に提出することも可能で、日常点の加点対象になる。 ◆小レポートおよび課題レポートは必ず提出すること。課題レポートは提出期限を厳守して、データ提出をすること。					